

令和5年度の評価結果等に対する外部有識者からの主な意見

改革の柱	I 県民の利便性の向上と効率的な業務の推進
取組項目	1 県民の利便性の向上
取組名	(2) 手数料等や県税における多様な支払方法の導入
取組内容	① 各種申請手続における手数料等をキャッシュレス納付できる仕組みの構築
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・若者はキャッシュレス決済に慣れているが、年配の方は現金に慣れていてキャッシュレスでの支払いを躊躇する方も一定数いると思うので、バランスを取りながら推進する必要があると思う。 ・令和5年度は2公所にキャッシュレス機器を導入しているがいずれも施設利用者の年齢層が高いように思う。まずは県民に使ってもらえるように、そしてわかりやすさにも配慮しながら取組を推進していくのがよいのではないか。

改革の柱	II 官民対話の更なる促進
取組項目	1 官民による双方向対話の促進
取組名	(1) 幅広い世代に伝わる広報の推進
取組内容	① 広報媒体の特性を生かしたメディアミックスによる情報発信
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報はリアルタイムで必要になるので、今後もLINEを活用した情報発信に力を入れてほしい。 ・情報の発信源が多岐にわたっていることから、県民意識調査において各情報発信ツールの使いやすさや活用状況についても把握できるようにすれば今後の改革に役立つのではないか。 ・県公式LINEの友だち登録者数の伸びが好調とのことから、今後情報発信のみならずアンケートなどの情報収集でも活用してみてもどうか。LINEであれば高い回答率が見込め、分析にも役立つと思う。 ・県民意識調査の数字も重要ではあるが、県民からの改善点などの意見を拾い上げることや予定していた取組の達成度を第一義として考えた方がよいのではないか。

令和5年度の評価結果等に対する外部有識者からの主な意見

改革の柱	Ⅱ 官民対話の更なる促進
取組項目	1 官民による双方向対話の促進
取組名	(2) 県民や民間団体等との対話の促進
取組内容	② 審議会等委員への多様な人材の登用
主な意見	<ul style="list-style-type: none">• 幅広く意見を聞く手法はパブリックコメントや官民対話等様々あるため、審議会は利害調整や専門家による議論の場にするなど割り切って考えてもよいのではないか。• 住民自治の深化に繋がることから公募委員を増やしていく必要性は理解できるが、重複就任を可能にしてまで参加してもらう必要はないのではないか。• 可能であれば若い世代も参加した方がよいと思う。そのために、大学の中でも公務員志望や行政に関心のある学生が多いと思われる学部周知するなど、情報の発信先を工夫してみてもどうか。• 女性や若者の意見があればよりよいのは確かだが、応募がなかったからといって一喜一憂する必要はないと思う。